

中島 結里愛 (Pf)

ショパンコンクール
最年少出場

高木 凜々子 (Vn)

島田 隼 (Pf)

ニューヨークより
凱旋帰国

©Shigeto Imura

2027

1/11 [月祝]

開場 13:00 / 開演 13:30

日本製鉄
紀尾井ホール

数々の国際舞台で
研鑽を重ね、
ストラディヴァリウスとともに
新たな音楽の世界を拓く
ヴァイオリニスト

©Solinity Pictures inc

Program

高木 凜々子 (Vn)

[ショパン]

ノクターン第20番 (遺作) 嬰ハ短調 (ミルシテイン編曲) 他

Pf: 鈴木慎崇

島田 隼 (Pf)

[ショパン]

ピアノソナタ第2番「葬送」 変ロ短調 作品35

中島 結里愛 (Pf)

[ショパン]

スケルツォ第4番 ホ長調 作品54 他

(曲目については予告なく変更になる可能性があります)

Daiki Group Presents

次世代を担う若き俊英たちの饗演

ショパンコンクールに挑んだ二人と、
高木凜々子によるスペシャルコンサート

NHKのドキュメンタリーでも話題を呼んだ若きピアニストたちと
数々の国際コンクールで受賞しながらSNSでも多くのフォロワーを魅了する
新世代ヴァイオリニストが夢の初共演。世界中で研鑽を重ね、これからの音楽界を担う
3人の若き才能による特別な公演をぜひご体感ください。



司会: 平井理央
(フリーアナウンサー)

【チケット価格】 ※未就学児の入場はご遠慮ください

S席 7,000円 A席 5,000円(税込)

【チケット販売】

■ チケットぴあ

[https://t.pia.jp/\(337-969\)](https://t.pia.jp/(337-969))

■ イープラス

[https://eplus.jp/\(459915-0001\)](https://eplus.jp/(459915-0001))

【主催】 大器株式会社 concert@daiki-net.co.jp

【後援】 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
日本赤十字社東京都支部

当公演の収益は子どもたちの未来のために後援団体等に寄付いたします。

<ショパンコンクールに挑んだ2人>

ポーランド・ワルシャワで5年に一度開催される「フレデリック・ショパン国際ピアノコンクール」。全演奏曲がショパンというこの世界最高峰の舞台では、卓越した演奏技術と深い音楽性が求められ、これまで数々の名演と世界的ピアニストを生み出してきました。過去最多となる640名を超える若者が挑んだ2025年の第19回大会。頂点に立ったのは、かつて「神童」と呼ばれ、いまや世界が注目するアメリカのピアニスト、エリック・ルーでした。その熱戦の舞台裏は、NHKスペシャル「魂を弾く ショパンコンクール 天才ピアニストたちの挑戦」として放送され、大きな反響を呼びました。その世界最高峰の舞台に日本から挑んだのが、史上最年少15歳で本大会出場を果たした中島結里愛と、エリック・ルーの愛弟子としてニューヨークを拠点に研鑽を重ねる島田隼です。今回、その二人に国内外で活躍するヴァイオリニスト高木凜々子を迎え、若き才能が響き合う特別なステージが実現します。次世代を担う三人の、今だからこそ聴くことのできる響演を、ぜひ紀尾井ホールでお楽しみください。

世界の常識を塗り替える若き至宝



中島 結里愛 (Pf)

Yulia Nakashima

2009年岡山県出身。9歳よりくらしき作陽大学モスクワ音楽院特別演奏コースのプログラムによりモスクワ音楽院教授の指導を受ける。2025年第19回ショパン国際ピアノコンクール 本大会に最年少15歳で出場。その他第21回大阪国際音楽コンクール リサイタルコース最高位、第25回ショパン国際ピアノコンクール in Asia プロフェッショナル部門銀賞、第14回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan 特級部門優勝など、いずれも史上最年少受賞。これまでにスイス、台湾、国内各地でソロリサイタルに出演。日本、イタリア、ポーランドでオーケストラと共演。現在、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校2年に在籍。ロームミュージックファンデーション2026年度奨学生。

世界へ羽ばたく若きヴィルトゥオーゾ



島田 隼 (Pf)

Jun Shimada

2005年東京都生まれ。12歳で渡米し、ジュリアード音楽院プレレッジに入学。第6回マンハッタン国際音楽コンクールピアノ部門金賞、第14回ショパン国際ピアノコンクール・ハートフォード第1位など受賞多数。2025年、ジュリアード音楽院の学士課程に全額奨学金を得て入学。同年、第19回ショパン国際ピアノコンクール本大会に出場。2023年度文化庁新進芸術家海外研修制度高校生研修員、日米友好基金日米芸術家交換プログラム日本側芸術家に選出。シャネル・ピグマリオン・デイズ2026参加アーティスト。ローム ミュージック ファンデーション2026年度奨学生。現在、ホン＝クワン・チェン、エリック・ルーの各氏に師事。ケイト・リウ、ミハイル・ヴォスクレセンスキー各氏の指導も受けている。



Special Guest 高木 凜々子 (Vn)

Ririko Takagi

東京藝術大学在学中、バルトーク国際コンクールにて第2位および特別賞を受賞し注目を集める。国内外の主要コンクールで多数の入賞歴を持ち、読売日本交響楽団をはじめとする国内主要オーケストラ、ならびに海外オーケストラとも共演。日本各地で開催するリサイタルでは、作品への深い洞察と構成力、気品ある美しい音色により高い評価を受けている。2020年にCD「凜々子プリランテ」をリリース以降、継続的に録音活動を行い、2024年にはパッハ《無伴奏ソナタ&パルティータ》全曲集を国内最年少で発表し話題となった。2026年にはイザイ《6つの無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ》全集を発売。YouTube「高木凜々子ヴァイオリンチャンネル」では登録者12万人を超え、演奏の魅力を広く発信している。使用する楽器は黒澤楽器店より貸与のストラディヴァリウス「Lord Borwick」(1702年)

司会: 平井理央 (フリーアナウンサー)



東京生まれ。
慶應義塾大学法学部卒業後、2005年フジテレビ入社。「すばると!」のキャスターを務め、オリンピックなど国際大会の現地中継等、スポーツ報道に携わる。現在はフリーアナウンサーとして活動。2023年に起業し、チョコレートブランド「VIVID CACAO」代表も務める。

<音楽に託す願い>

～すべての子どもたちに明るい未来を～

今回で第9回を迎える「Daiki Group Presents チャリティーコンサート」は、「すべての子どもたちに明るい未来を」をテーマに開催します。音楽を通じて、困難な状況にある子どもたちを支え、「夢をあきらめない未来」の実現を目指します。音楽から生まれる希望と支え合いの輪を、ぜひ会場でご一緒いただければ幸いです。

日本製鉄 紀尾井ホール

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号 tel.03-5276-4500(代表)

- 四ツ谷駅(JR線) 麴町口・赤坂口 徒歩6分
(丸ノ内線・南北線) 出入口1 (赤坂口) 徒歩6分
- 麴町駅2番出口(有楽町線) 徒歩8分
- 赤坂見附駅D出口(銀座線・丸ノ内線) 徒歩8分
- 永田町駅7番出口(半蔵門線) 徒歩8分